

# 第2章 子どもと子育て家庭を取り巻く動向

## 1. 宝塚市における概況

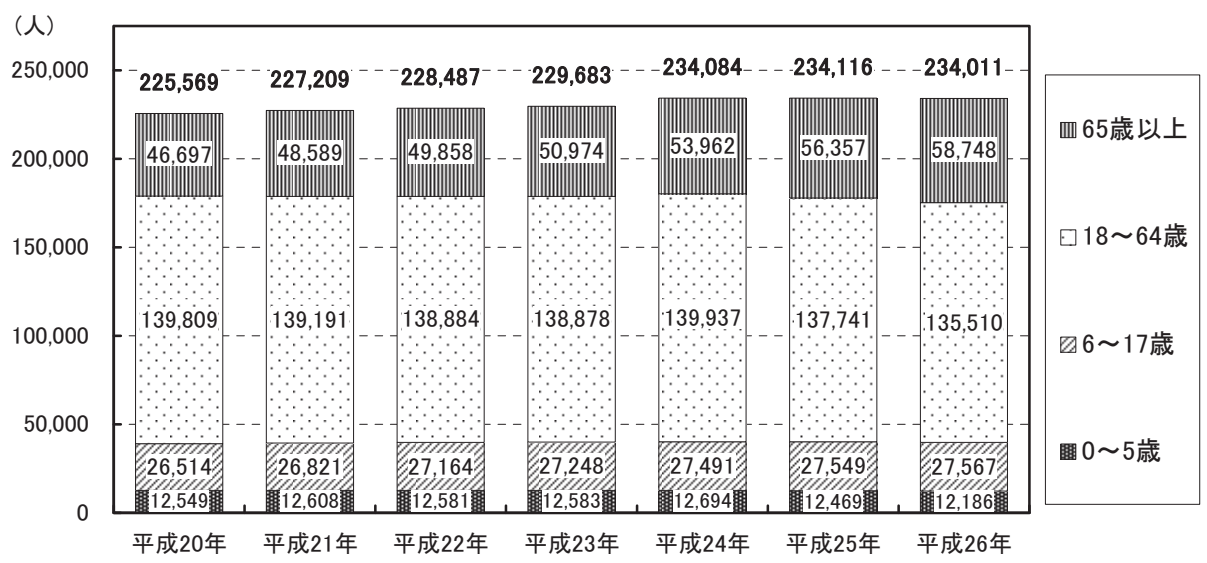
### (1) 人口・児童数の状況

本市の人口総数は平成26年(2014年)9月末現在234,011人(住民基本台帳人口)で、平成24年(2012年)以降横ばい状況となっています。

幼児期の教育・保育や地域子ども・子育て支援事業<sup>\*P.114</sup>の対象となる0歳から5歳の子どもは12,186人で近年は減少傾向が見られます。

また、小学生から高校生にあたる6歳から17歳の子どもは27,567人で緩やかな増加傾向が続いています。

#### ◆年齢区分別人口の動向

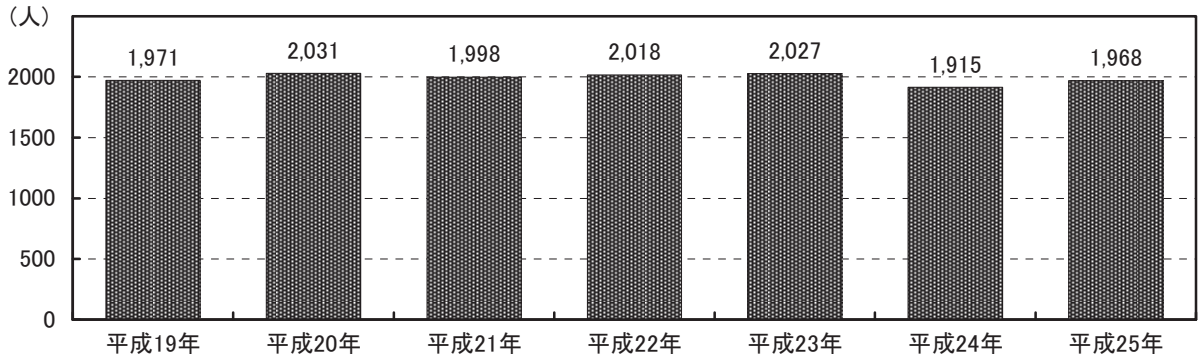


資料：住民基本台帳（各年とも9月末現在）

年間の出生数は横ばい状況が続いています。

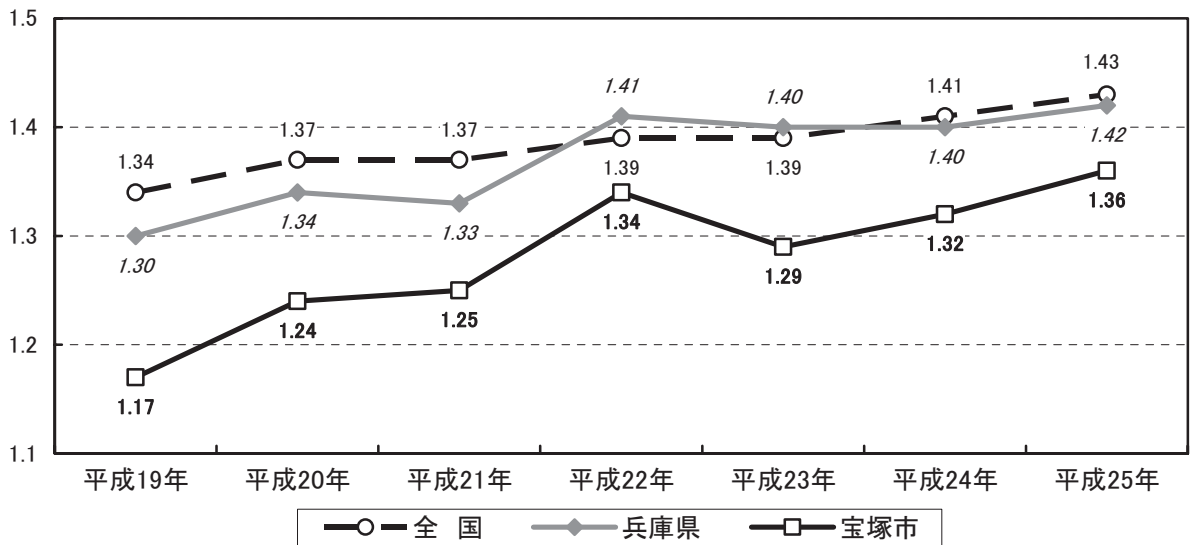
また、一人の女性が生涯に出産する子どもの数の平均値を示す合計特殊出生率は、平成16年・17年・19年(2004年・2005年・2007年)に1.17まで低下しましたが、近年は1.3前後で推移しており、平成25年(2013年)は1.36となっています。ただし、全国(1.43)や兵庫県(1.42)の平均よりは低い水準にあります。

#### ◆出生数の推移



資料：住民基本台帳

#### ◆合計特殊出生率の推移



資料：宝塚市／住民基本台帳（9月末現在）

平成22年は国勢調査人口

兵庫県・全国／国立社会保障・人口問題研究所

## (2) 幼児期の教育・保育施設の状況

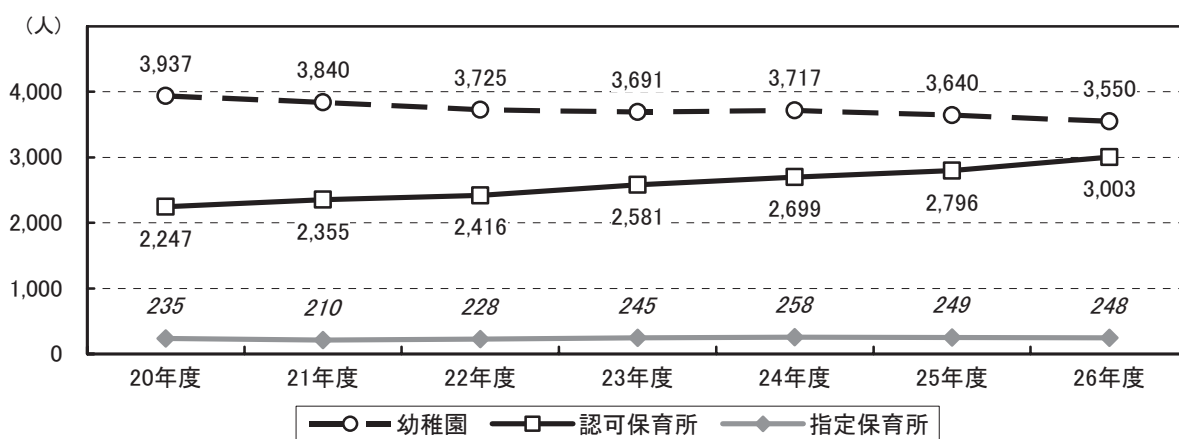
平成26年(2014年)5月1日現在、幼稚園は、公立12(認定こども園<sup>\*P.114</sup>1カ所を含む)、私立14(同2)の合計26園が開設され、総定員は4,415人であるのに対し、園児数は3,550人となっており、5年前の平成21年(2009年)と比べると、園児数は7.6%減少しています。

認可保育所は、公立8、私立19(分園含む)の合計27カ所が開設され、総定員は2,765人であるのに対し、入所児童数は3,003人と定員を上回る受け入れを行っています。5年前の平成21年(2009年)と比べると、総定員は20.5%増加しましたが、入所児童数はさらに多い27.5%の増加となっており、その結果、平成26年(2014年)4月1日現在で待機児童は103人にのぼっています。

指定保育所<sup>\*P.113</sup>は市内に8カ所開設され、平成26年(2014年)5月1日現在、総定員306人に対し248人の利用となっています。また、その他の認可外保育所(事業所内保育所を含む)は12カ所、総定員446人となっています。

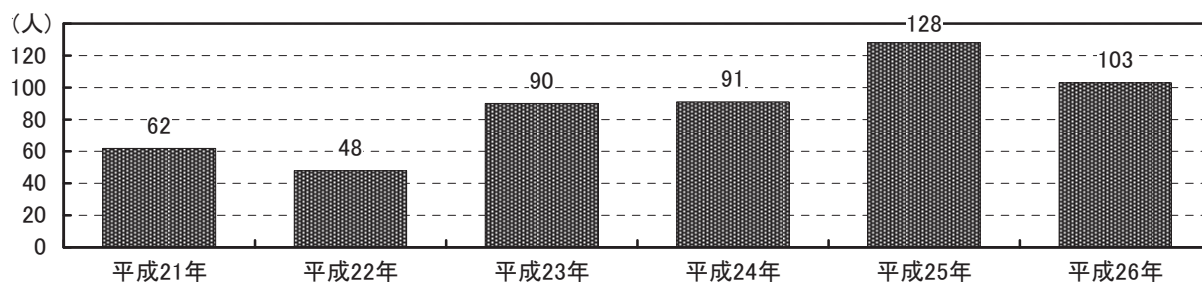
認定こども園については、すべて幼稚園型で、公立1、私立2の合計3カ所が開設されており、保育所部分の総定員は55人となっています。

### ◆幼稚園園児数・保育所入所児童数



資料：保育事業課、学事課 ※各年5月1日現在

### ◆保育所待機児童数の推移

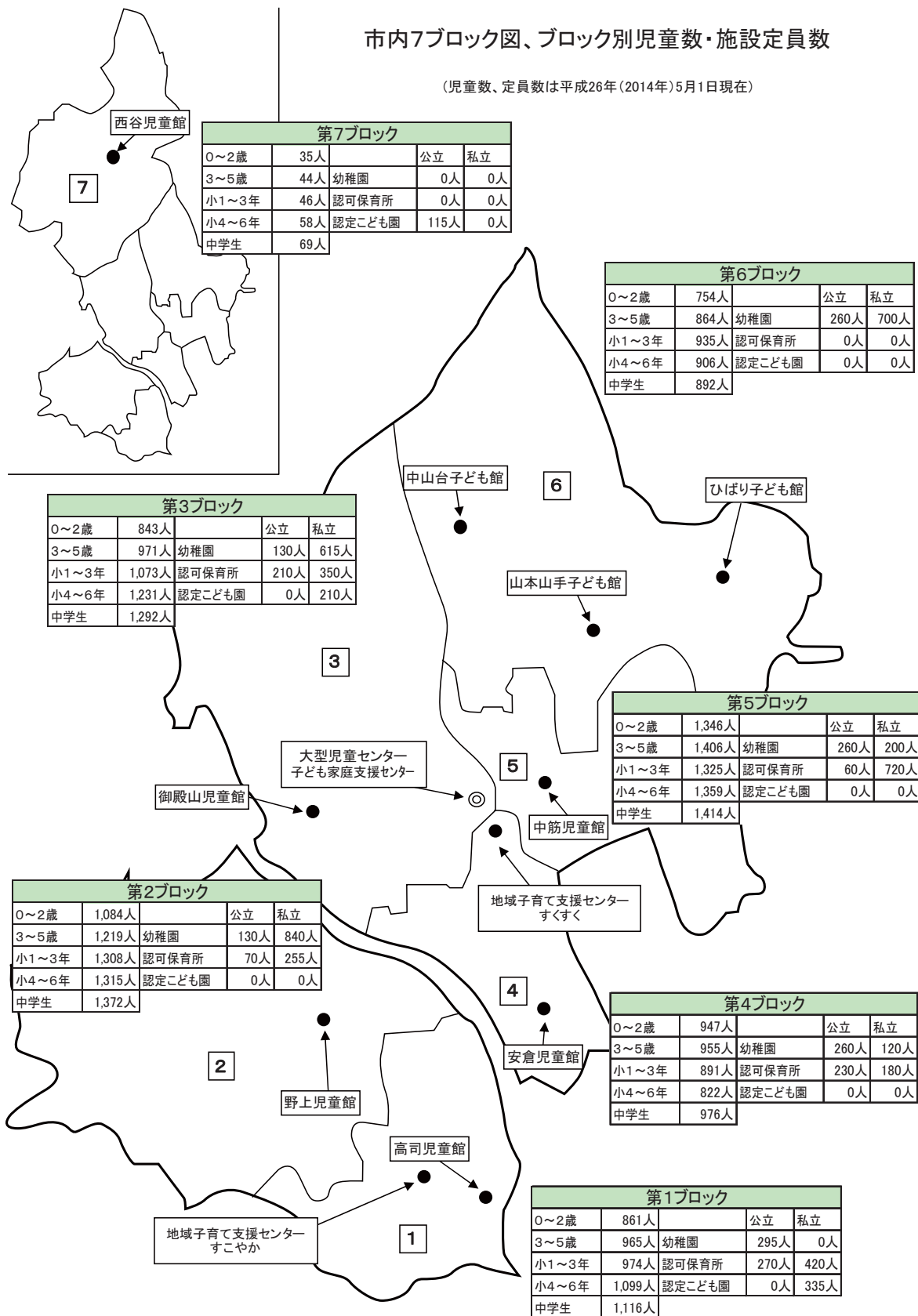


資料：保育事業課 ※各年4月1日現在

就学前児童における年齢ごとの保育所の利用率の推移をみると、0歳から2歳までの低年齢児で利用率が大きく伸びており、3歳以上についても保育所の利用率が伸び、幼稚園の利用率が低下する傾向にあります。

### 市内7ブロック図、ブロック別児童数・施設定員数

(児童数、定員数は平成26年(2014年)5月1日現在)

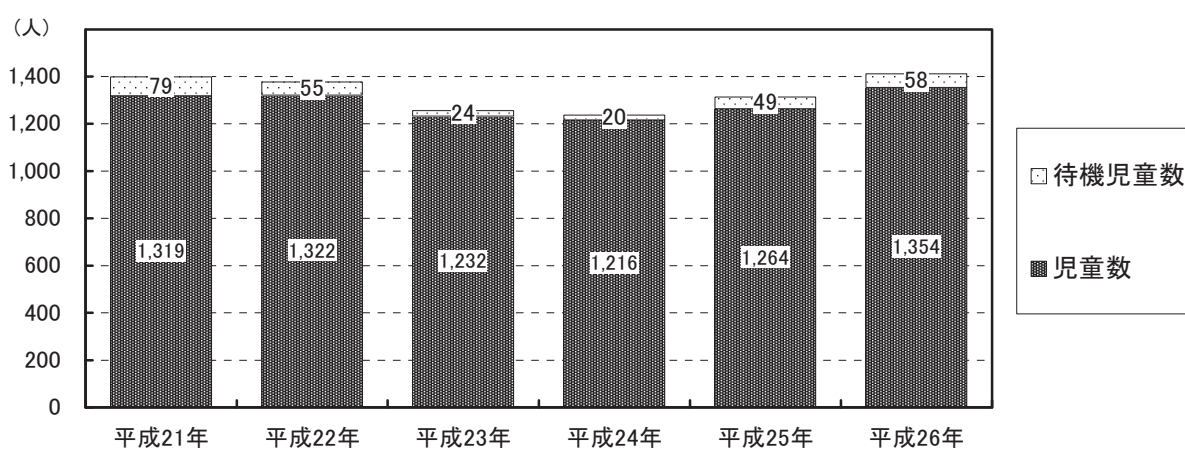


### (3) 地域児童育成会（学童保育）の状況

平成26年(2014年)4月1日現在、地域児童育成会\*<sup>P.114</sup>は24小学校に33カ所開設され、総定員は1,720人であるのに対し、利用児童数は1,354人となっています。一部の地区で旺盛な需要が見られ、5年前の平成21年(2009年)と比べると総定員は7.5%増加しましたが、58人が待機しています。

また、8月1日現在、この他に民間学童として6カ所(定員122人)が開設されています。

#### ◆地域児童育成会の児童数・待機児童数の推移



資料：青少年課（各年とも4月1日現在）、民間は除く



地域児童育成会の様子

## (4) 母子保健事業に関する実施の状況

母子保健事業では、妊産婦や子どもの健康、発達、育児について相談に応じ、妊産婦の健康や子育てに関する情報提供を行っています。

平成25年度(2013年度)の妊娠届出数は1,902件、妊婦相談事業における相談者数は690人となっており、支援が必要な妊婦には、家庭訪問や関係機関との連携により支援を行っています。

出産後は、未熟児訪問、新生児訪問、赤ちゃん訪問(生後4か月までの全戸訪問)を行っており、訪問率は93%前後で推移しています。また、養育支援ネット事業<sup>\*P.115</sup>における医療機関からの情報提供数は、平成21年度(2009年度)の61件から平成25年度(2013年度)は208件と増加し、その主な内容は未熟児支援だけでなく、育てにくさ、保護者の健康や家庭環境の問題に関するものが増加しています。

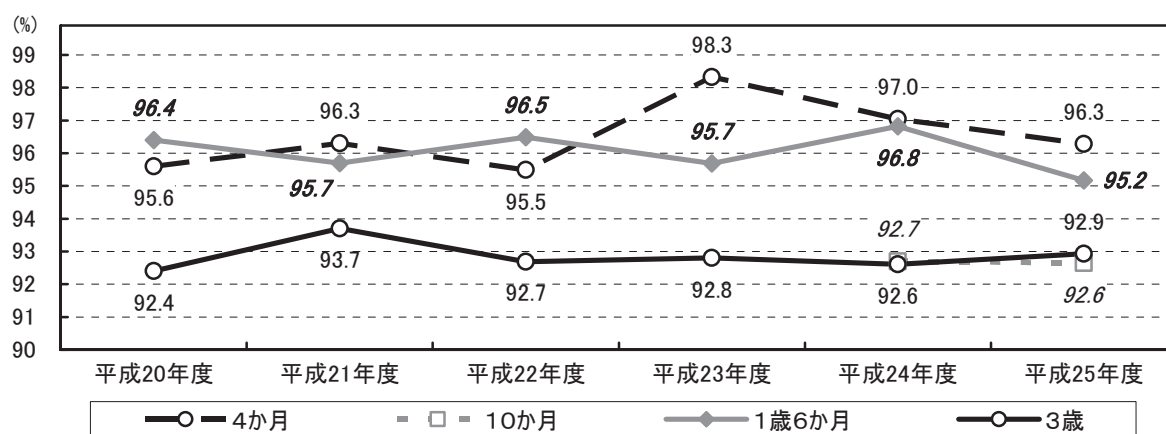


赤ちゃん訪問の様子



乳幼児期には、4か月児健診、10か月児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診を実施しており、平成25年度(2013年度)の受診率は、それぞれ、96.3%、92.6%、95.2%、92.9%となっています。今後は、幼児期の心身の発達段階に応じた子育て支援を行うため、発達障がい等の早期発見や相談支援体制の充実を図る必要があります。

## ◆乳幼児健診の受診率の推移



資料：健康推進課



乳幼児健診の様子

学童期・思春期を対象とした「健全母性育成事業」では、思春期の様々な健康課題に応じ、喫煙予防、飲酒予防、性教育をテーマに、小中学校で健康教育を実施しており、平成25年度(2013年度)は17回開催しています。

また、子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくりを推進するため、地域で活動されている民生委員・児童委員や、子育てサークル、各まちづくり協議会<sup>\*P.115</sup>等の要請に応じ、保健師、栄養士、歯科衛生士、運動指導員を派遣し、子育てに関する講座や健康相談を行っています。平成25年度(2013年度)は講座を29回、健康相談を21回開催しています。



## (5) 子どもや家庭の状況や意識

本計画の策定に向けて、就学前児童及び小学1～3年生の保護者、小学5年生・中学2年生・高校2年生本人を対象に、市民の生活実態や子ども・子育てに関する意識等を把握することを目的として、アンケート形式のニーズ調査を実施しました。

### ◆調査方法と回収状況

[保護者]

調査対象	就学前児童 保護者	小学1年生～ 3年生保護者
調査方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民基本台帳から市内7ブロック*P.113・年代区分ごとに無作為抽出。</li> <li>・調査票を郵送により配布し、返信用封筒により回収。</li> <li>・礼状兼催告状を1回郵送。</li> </ul>	
調査時期	平成25年(2013年)10月	
配布数	3,267	1,128
回収数	1,965	629
回収率	60.2%	55.8%

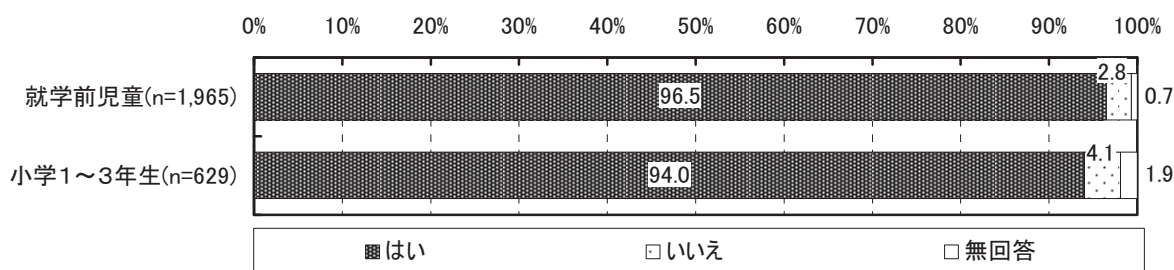
[児童生徒本人]

調査対象	小学5年生 本人	中学2年生 本人	高校2年生 本人
調査方法	公立	市内全校各1クラスを対象に学校で配布・回収。	市内全県立校各2クラスを対象に学校で配布・回収。
	私立	市内全校で市内在住者を対象に学校で配布・回収。	市内全校で市内在住者を対象に学校で配布・回収。
調査時期	平成25年(2013年)10月～11月		
配布数	359	459	359
回収数	341	443	331
回収率	95.0%	96.5%	92.2%

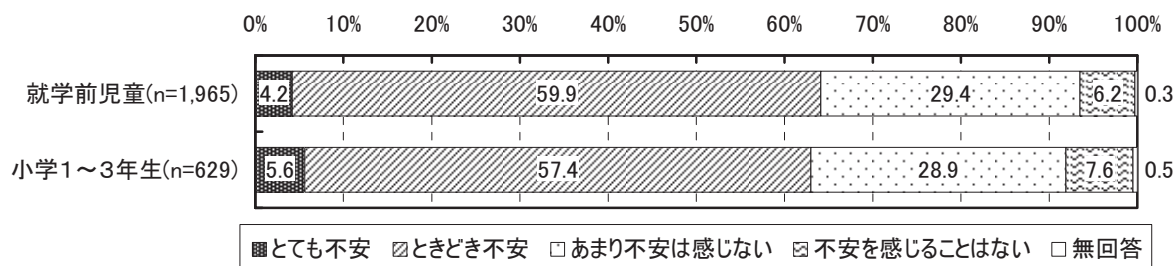


保護者に対するアンケート結果では、「子育てが楽しい」と答えた人が就学前児童の保護者の96.5%、小学生の保護者の94.0%とほとんどを占めており、平成20年(2008年)に実施した前回調査の結果より増えています。しかし、その一方で、「子育てに不安を感じる」という人は「とても不安」「ときどき不安」を合わせて就学前児童の保護者の64.1%、小学生の保護者の63.0%、「子育てに負担を感じる」という人も就学前児童の保護者の58.2%、小学生の保護者の47.8%に見られました。

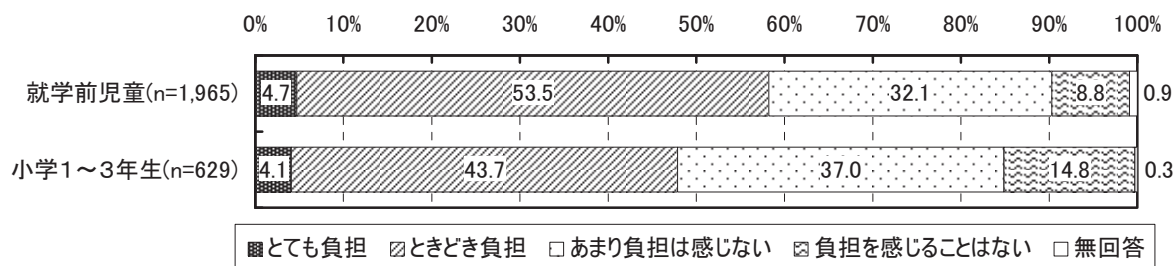
◆子育ては、楽しいですか。



◆子育てに関して、不安を感じることはありますか。



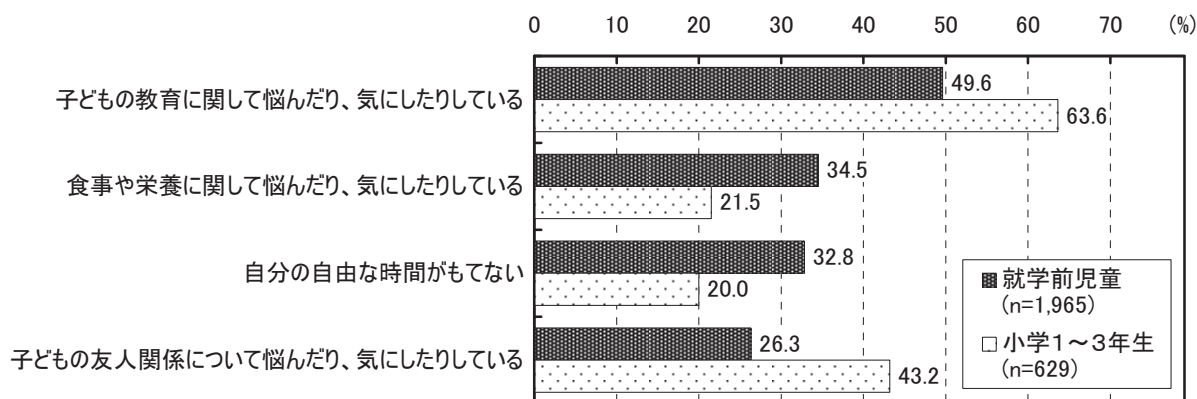
◆子育てに負担を感じることはありますか。



資料：子どもの成長と子育て支援に関するアンケート調査（平成25年（2013年）10月）

子育てに関する不安や負担の具体的な内容としては、「子どもの教育に関して悩んだり、気にしたりしている」が就学前児童の保護者の49.6%、小学生の保護者の63.6%で最も多く、これに次いで就学前児童の保護者では、「食事や栄養に関して悩んだり、気にしたりしている」(34.5%)や「自分の自由な時間がもてない」(32.8%)、小学生の保護者では「子どもの友人関係について悩んだり、気にしたりしている」が43.2%と多く見られます。

◆子育てに関して、不安や負担を感じることはどのようなことですか。

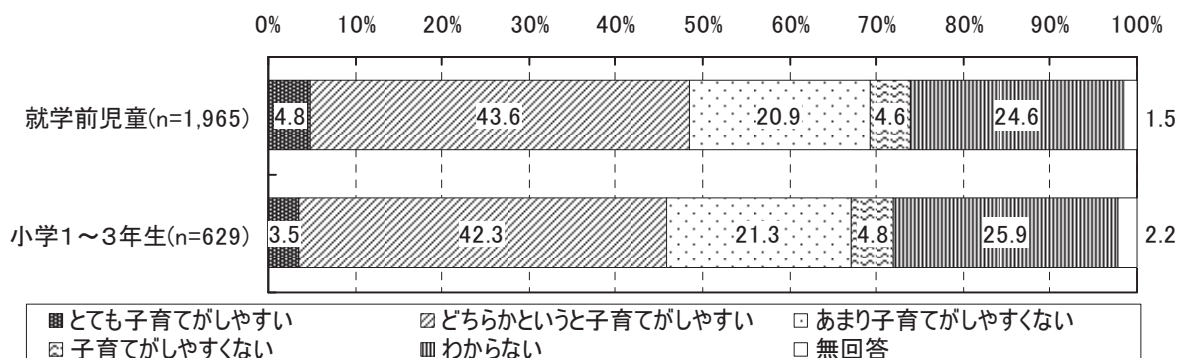


資料：子どもの成長と子育て支援に関するアンケート調査（平成25年（2013年）10月）

本市における子育てのしやすさについて尋ねた質問では、就学前の保護者の48.4%、小学生の保護者の45.8%が子育てのしやすさについて肯定的な評価をしており、前回調査の割合を上回っています。

しかし、これらの肯定的評価は過半数を占めるまでには至っていないこと、また「あまり子育てがしやすすくない」という回答の割合が20～21%で前回から変わっていないことなどから、今後とも引き続き子どもの成長や子育て支援の取組を充実させていく必要があるものと考えられます。

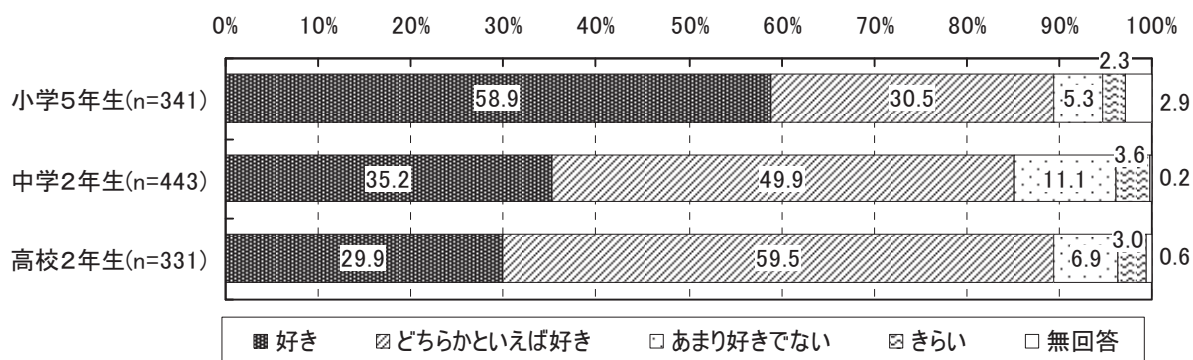
◆宝塚市は子育てがしやすいまちと思いますか。



資料：子どもの成長と子育て支援に関するアンケート調査（平成25年（2013年）10月）

児童生徒本人に対するアンケート結果では、宝塚市のことが「(とても)好き」「どちらかといえば好き」という人が小学生の89.4%、中学生の85.1%、高校生の89.4%を占めています。また、将来も宝塚市に住みたいという人も小学生の33.4%、中学生の25.3%、高校生の30.8%となっており、前回調査と比べると割合が高くなっています。

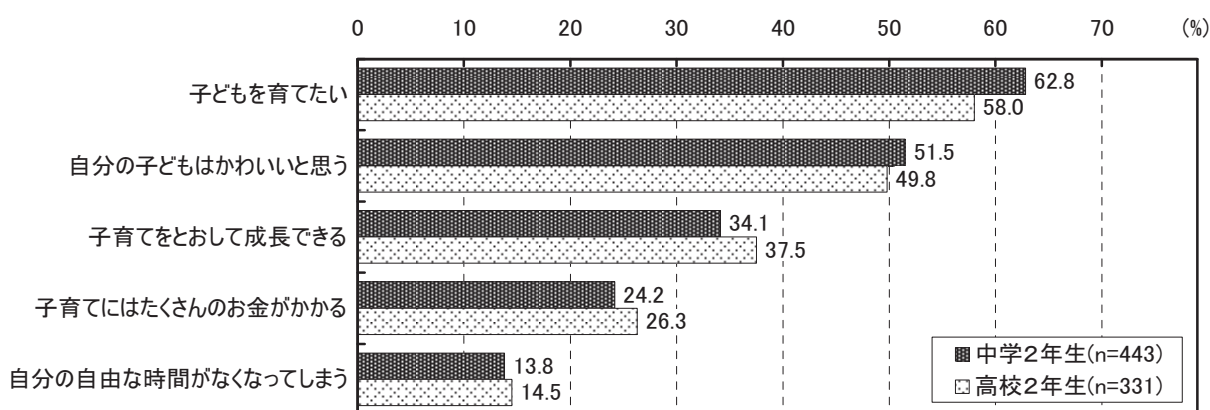
◆あなたは、宝塚市が好きですか。



資料：子どもの成長と子育て支援に関するアンケート調査（平成25年（2013年）10月）

自分が親になることについて尋ねたところ、「子どもを育てたい」という人は中学生の62.8%、高校生の58.0%、「自分の子どもはかわいいと思う」という人は中学生の51.5%、高校生の49.8%をそれぞれ占めています。ただし、前回調査と比べると高校生では両者とも回答割合が低下し、「わからない」と答える人が大幅に増える結果となりました。

◆あなたは将来、親になることについてどう思いますか。



資料：子どもの成長と子育て支援に関するアンケート調査（平成25年（2013年）10月）

## 2. 次世代育成支援行動計画の取組状況

平成26年度（2014年度）までの計画である「次世代育成支援行動計画」（後期計画）は、「基本目標」6、「施策の方向性」21、「主要な施策」41の施策体系のもとに策定しました。

平成27年度（2015年度）からの本計画の策定に当たって施策の実施状況を把握したところ、概ね実施されており、本計画においても継続ないし実施方法を検討しつつ施策の発展・拡充を図るといったものが多くあります。

ただし、これまでに実施してきた施策においても、新制度に基づく充実した保育サービスの提供、発達に遅れのある子どもへの支援、児童虐待やいじめ・不登校等への対応、生活環境における子どもの育ちや子育てへの一層の配慮、地域における子育て支援の機能強化など、今後より一層の充実が求められるものも含まれています。

取組状況の詳細と今後の課題については、第4章施策の展開において記載することとしますが、基本目標ごとに掲げた数値目標に対する進捗状況、評価指標の推移については、次のとおりです。

### 〔基本目標1 すべての子どもと家庭への子育て支援サービス〕

### 〔基本目標5 家庭や地域の子育て力・教育力の向上〕

<数値目標に対する進捗状況>

事業名	単位	平成16年度 (前期計画策定年)	平成21年度 (後期計画策定年)	平成25年度	後期計画策定時の 26年度目標値
地域子育て支援拠点事業 <small>(注) センター型・ひろば型の区分は 平成25年度まで</small>	センター型	1	2	3	3
	ひろば型	1	1	10	11
ショートステイ事業	設置個所数	6	8	8	8
ファミリーサポート センター事業	設置個所数	1	1	1	1

<評価指標の推移>

指標項目	単位	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
阪神北広域子ども急病センターを利用する市民患者数 (年間)	人	10,228	8,061	8,856	7,539	7,467
児童虐待相談対応件数(年間)	件	90	237	299	427	424

## 〔基本目標2 子育てと仕事の両立支援〕

＜数値目標に対する進捗状況＞

事業名	単位	平成16年度 (前期計画策定年)	平成21年度 (前期計画策定年)	平成25年度	後期計画策定時の 26年度目標値
通常保育事業(認可保育所)	定員数	2,130	2,295	2,625	2,505
低年齢児保育(0～2歳児)	定員数	854	917	1,053	1,001
延長保育事業	設置個所数	21	21	24	23
	定員数	355	295	335	320
休日保育事業	設置個所数	0	0	1	1
	定員数	0	0	10	10
病児・病後児保育事業	設置個所数	1	1	2	2
	総定員数	2	2	4	4
一時預かり事業	設置個所数	6	9	13	12
	総定員数	60	90	126	120
放課後児童健全育成事業 (地域児童育成会事業等)	定員数	1,460	1,630	1,774	1,895

＜評価指標の推移＞

指標項目	単位	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
認可保育所待機児童数	人	62	48	90	91	128
一時預かり延べ利用人数(年間)	人	14,067	14,652	16,725	20,711	22,025
地域児童育成会待機児童数	人	79	55	24	20	49

## 〔基本目標3 教育環境の整備〕

＜評価指標の推移＞

指標項目	単位	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
不登校児童生徒出現率(小学校)	%	0.23	0.22	0.19	0.26	0.25
不登校児童生徒出現率(中学校)	%	2.87	2.57	2.71	3.00	3.34
適応教室入級児童生徒の学校復帰率	%	53.1	40.6	36.6	16.0	41.9
パルふれんど訪問児童生徒の学校(社会)復帰率	%	86.7	100.0	100.0	57.0	62.5
問題行動発生件数(年間)	件	121	71	68	48	31

## 〔基本目標4 安全・安心の子育て環境〕

＜評価指標の推移＞

指標項目	単位	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
歩道段差改良箇所整備率	%	72.0	82.0	91.99	97.75	100.0
ノンステップバスの導入率	%	55.2	56.9	58.6	60.3	62.1
安心メール登録者数	件	10,029	11,491	11,885	10,938	11,878
アトム防犯グループ数	件	115	119	120	123	125

## 〔基本目標6 子どもの社会参加の促進〕

＜数値目標に対する進捗状況＞

事業名	単位	平成16年度 (前期計画策定年)	平成21年度 (後期計画策定年)	平成25年度	後期計画策定時の 26年度目標値
放課後子ども教室	設置箇所数	8	20	22 (1休止中)	24

＜評価指標の推移＞

指標項目	単位	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
放課後子ども教室延べ利用者数(年間)	人	48,629	59,804	58,443	63,010	61,590
児童館利用者数(年間)	人	159,768	203,512	204,212	201,718	189,946



トリプル周年記念事業「つながろう！プレ1年生！！」より